

水害時の衛生対策と消毒方法

1 家屋等が浸水した場合

豪雨等により家屋などが浸水した場合は、洗浄や拭き取りにより十分に汚れを除去して、乾かした後、消毒するようにしてください。

(消毒は、汚れのない状態でないと、効果を発揮することができません。)

2 衛生対策について

家屋などが浸水した場合、次のとおり洗浄及び衛生対策を行ってください。

●床上の場合

室内は、食事や睡眠など生活を行う場所のため、泥や汚れを十分に取除いた後、消毒を行いましょう。

- ① 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- ② 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
- ③ 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
- ④ 食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

●家の周囲や床下の場合

土砂等を取り除いた後、水道水で洗い流し、しっかり乾かすことが重要です。床下に流れ込んだ土砂や水分が残っている場合、その湿気により、家の基礎や土台(床組)などに影響が出る場合があります。

- ① 汚泥や不要なものなどを片付けてください。
- ② 庭木や外壁についた泥は、水で十分に洗い流してください。
- ③ 床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くしてください。
- ④ 床下はスコップや流水を用いて汚泥を取り除いた後、雑巾などで水気をなくし、扇風機などにより強制的に換気し、乾燥させてください。

●食中毒、感染症の予防のために

- ① 受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
- ② 水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品はできるだけ廃棄してください。
- ③ からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診してください。
- ④ 食事の前や用便、清掃の後などは、しっかりと手を洗ってください。

3 消毒方法について

消毒薬は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります。使用は必要最小限としましょう。使用の際には、事故が起こらないよう注意してください。

<参考>消毒方法の例

(※色々な濃度のものが市販されているので、希釈倍率には注意してください。)

消毒対象	消毒薬	調整方法 (例)	使用方法
屋内 (汚水に浸かった壁面や床、家財道具)	0.1 % 塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	10 % 塩化ベンザルコニウム 10ml に水を加えて1 L とする。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させた後、調整した液を浸した布などでよく拭く。 (噴霧器を使用する場合は、濡れる程度に噴霧する。その後、風通しをよくしてそのまま乾燥させる。) 消毒は汚れが残っていたり、濡れている状態で行うと十分な効果を発揮することができません。
手指 (後片付けなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)			汚れを石けんで洗ったあと、流水で石けんをよく落とし(石けんが残っていると殺菌力が低下します。)、洗面器などに入れた調整後の消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いする。その後、乾いたタオルなどで、よくふき取る。
食器類	0.02%次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	10 % 次亜塩素酸ナトリウム 2ml に水を加えて1 L とする。	食器等を水洗いした後、調整した消毒液に5分以上浸し、水でよくすすいで乾燥させる。

※ 消毒薬を取り扱う際にはゴム手袋などを使用するとともに、皮膚や目にかからないように注意してください。また、皮膚についた場合、水と石鹼でよく洗い流し、目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

※ 消毒薬をペットボトルへ移し替えないでください。誤って飲んでしまう事故につながる場合がありますので、必ず使い切ってください。また、他の消毒液や洗剤と混ぜないでください。

※ 消毒液の入っていたバケツやじょうろなどは、使用后、十分に水で流してください。

※ 床下の消毒・乾燥用に消石灰を撒くことについては、用法や効果について明確に示されたものはありません。

消石灰は、水に溶解すると強アルカリ性となるため、使用する場合には、目や皮膚につかないように、また、口に入らないように十分注意してください。

問い合わせ先：〇〇町〇〇課
 TEL：082-〇〇〇-〇〇〇〇